

NEWS LETTER

特集

第16期決算速報

セゾン・グローバルバランスファンド
セゾン資産形成の達人ファンド

長期投資仲間へのメッセージ

「世界が変わる」中での長期投資

代表取締役会長 CEO 中野 晴啓

腰を据えて長期資産形成を

代表取締役社長 COO 園部 鷹博



ポートフォリオ
マネージャーから

セミナー情報
NISA 改正

買付・解約
受付不可日のお知らせ

新年のご挨拶



「世界が変わる」中での長期投資

あけましておめでとうございます。地球全体でコロナ禍に苦慮した3年間を経て、2023年はようやく世界がその不自由を過去の経験として克服し、元気よく跳ねる年（卯年）になることを切望しつつ、新年を迎えています。2022年は跳ねる前の雌伏の1年だったと感じています。想定内だったコロナ後のインフレでしたが、ロシアのウクライナ侵攻によって、インフレの在り方が大きく変貌しました。エネルギー価格急騰によるコストプッシュ型インフレの加速は、「世界が変わる」大きな触媒のひとつになりました。確かに新型コロナ感染は、人々の生活や価値観、そして働き方を変え、ITが日常に劇的に普及する革新的進化をもたらして、「世界が変わる」歴史的転換を導きました。また、その渦中で脱炭素に向けた取り組みが一般化して、持続可能な社会へのベクトルが「世界が変わる」ための正義になったのです。これらの事象はニューノーマル（新常態）社会の普遍的基

セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

盤となりましょうが、そこに大きく横たわる新普遍がインフレ前提社会への回帰です。

脱ロシア依存が進む中での脱炭素社会への転換途上がいよいよ続く中では、資源エネルギーは恒常的に不足してインフレ経済の起因となり、グローバル化構造の再構築過程ではサプライチェーンもバリューチェーンもインフレ傾向に作用するでしょう。そうしたニューパラダイムが混沌の先に様々な領域で新たなイノベーションを具現化させていく。産業界のヒエラルキーも劇的変化を強いられる中で、地球経済は新たな成長軌道を確立させていくはず。そして持続可能な地球が共通課題である限り、グローバル化が途絶えるわけではなく、地球経済はネオグローバルリズムを築いていく。それが人類の英知なのです。

2023年はその端緒となり、課題解決に向けて跳ね上がる1年になるとの期待と、将来への楽観を是

非とも長期投資の心持ちに据えてください。そして来年からは新たなNISA制度が始まり、いよいよ長期投資が国民文化となって当たり前の行動規範となる時代の到来間近です。「セゾン号」の皆さまはその

イノベーターとして、社会にそれを伝播させる先導役と一緒に果たしてまいりましょう。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

(2023年1月1日)



腰を据えて長期資産形成を

セゾン投信株式会社 代表取締役社長COO 園部 鷹博

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。(アノマリーにすぎませんが)相場の格言にありますように、「^{とら}真千里を走り、^う卯跳ねる」と言われます。本年2023年は卯年です。格言通りに良好な結果に終わることを願っていますし、私自身も年男として気合十分で1年のスタートを切りました。このニュースレターにおいてはちょうど1年前に「2つのNew」と称してセゾン共創日本ファンド設定、セゾン顧客本位の相談室のスタートをお伝えしました。今年もNewを期待されている方がいらっしゃると思います。私自身も早く皆さまへお伝えしたく、はやる気持ちを抑えている状況なのですが、年末までには正式発表できるような現在数多くの社員が全力で取り組んでくれています。ぜひご期待ください。

さて、「セゾン号」に乗車のお客さまは長期の資産形成をじっくりと楽しんでいらっしゃいますが、先月23日に令和5年(2023年)年度税制改正大綱が閣議決定されるとともに私たちに朗報が飛び込んできました。いうまでもないNISA改正です。これにより2024年からはつみたてNISAと一般NISAが統合され、年間で最大360万円の投資枠、累計で1,800万円まで非課税で保有することができるようになります。2019年に発表され且つ弊社会長CEO中野も委員として作成に関わった年金2,000万円問題報告書

(正式には「高齢社会における資産形成・管理」)の課題解決に大きく寄与することができます。NISAのモデルとなった英国ISA (Individual Saving Account)の制度を上回る拡充ぶりです。今回の改正で最も理解していただきたい重要な点はつみたてNISAの要件を満たした投資信託だけで年間最大360万円、累計1,800万円の上限枠を活用できることです。個別株式の取引、テーマ型の投資信託を購入せずとも、じっくり腰を据えて長期保有型の投資信託を活用してその恩恵を存分にご自身の資産形成に反映させることができるようになります。毎月の積立できる金額が5万円なら30年間、10万円なら15年間、20万円なら10年間、30万円なら5年間、皆さまの状況に応じて積立が可能です。新社会人、ご結婚されたカップル、お子さまが生まれたパパママ、生前贈与を見据えたご高齢の方々、2023年はセゾン投信から状況に合わせた活用方法をご提案いたします。相談室も何度でも納得がいくまでご利用ください。これまで通りセゾン投信は皆さまの長期資産形成を本気でお手伝いしてまいりますし、新しいNISAのスタートに向けて本気で取り組んでまいります。それでは2023年の「セゾン号」出発です!

(2023年1月1日)

ポートフォリオマネージャーから

長期目標とリスクを再確認する

2022年も、年初には予期していなかったさまざまな出来事があり、改めて社会は非常に複雑で、人間の将来に対する想像力には限界があることを認識しました。そして、資産を大きく失わないためには幅広い国際分散投資を行うことが重要であることを強く意識した年であったと思います。

また、株式市場だけでなく、債券市場、為替市場の動きが大きくなったことは、投資に内在するリスクの存在を一段とはっきりと浮き上がらせていますが、投資においてはリスクとリターンは表裏一体であり、資産を成長させるためには、リスクから完全に逃れることはできません。

もちろん、どんなリスクでも引き受ければ良いというものではなく、自らの長期的な目標に照らして、納得して受け入れることができるリスクのみを引き受けることが重要であり、不安を感じた時には、自分の長期的な目標と自分が引き受けているリスクについて改めて確認することが有益だと考えます。

2023年も現時点で予期していない出来事が起こることが想定されますが、引き続き、お客さまの長期的な資産の成長に焦点を当て、長期的な視点で運用を行ってまいりますので、未永くお付き合いいただければ幸いです。



瀬下 哲雄 マルチマネージャー運用部

子どもたちの将来を守る

共創日本ファンドの立ち上げから早くも1年が経過しようとしています。日頃から皆さまの熱いご支援に心より御礼申し上げます。世界的な物価上昇、米国の金融引き締め、ロシアによるウクライナ侵攻など、昨年の相場は一進一退の展開が続きました。新年においても、引き続きインフレは継続し、台湾有事などの地政学リスクにも注意しなければなりません。2023年はリセッションになるでしょう。ですが、そのリスクは短期で小さなリスクに過ぎません。一方で、企業活動に裏打ちされた利益はその永続性から累積し、大きなものになります。どうか、目先のファンドの成績に一喜一憂はなさらないでください。

それよりも、地球の生態系を還元し人類の公共の福祉に懸命に貢献することがセゾン共創日本ファンドの使命です。目先の小さな株価変動は人類にとっては些細なもの。もちろん、軽視はしません。一方で、これから生まれる子どもたちの将来を守ることは人類の最優先の課題です。わたしたちの運用戦略はこうした課題解決に合致しています。地球や人類の課題を解決にはプライスレスな価値があります。従って当ファンドの将来のアルファは同様にプライスレスで膨大なものになりえると信じています。引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。



山本 潤 国内株式運用部

第16期決算速報

2022年12月12日はセゾン・グローバルバランスファンドとセゾン資産形成の達人ファンドの第16期決算でした。運用報告書が届くまで待てない！という皆さまへ速報をお届けいたします。

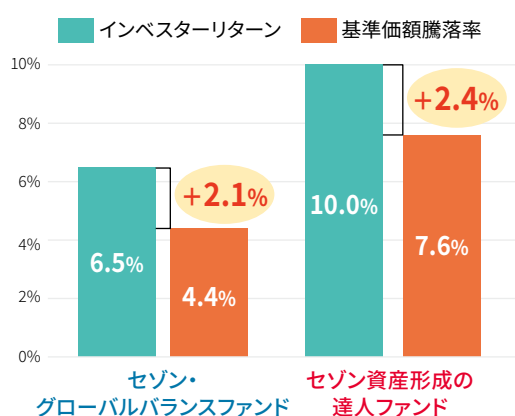
第16期決算 2022年12月12日	セゾン・ グローバルバランス ファンド	セゾン 資産形成の達人 ファンド
基準価額	19,645円	31,475円
純資産総額	3,378億円	2,159億円
期中の 基準価額騰落率	+2.29%	-2.86%

2ファンドの
運用資産残高合計は
第15期の4,800億円から
5,500億円に成長



インベスターリターン(金額加重収益率)

インベスターリターン(年換算)



設定来のインベスターリターン(年換算)は2ファンドともに基準価額騰落率を上回る結果となりました。

「インベスターリターン」とは実際の投資行動の結果、投資家が得た平均的な収益率のことです。「セゾン号」乗客の皆さまが長期保有を続けていることで、インベスターリターンは安定しています。

対象期間:2007年3月15日～2022年12月12日

■インベスターリターン:日々のファンドへの純資金流入額と、期首及び期末のファンドの純資産額から求めた内部収益率を年率換算したものです。

■基準価額騰落率:ファンドの基準価額の変化率を年率換算したものです。

・小数点第2位を四捨五入しております。

・直販、公販を含む

※当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。

第16期は資源価格高騰や物価上昇、各国の政策金利引上げなどの影響を受けマーケットも大荒れでした。決算の2ファンドは国際分散型で外貨建て比率が高いため、円安はプラスに働きました。今期のセゾン資産形成の達人ファンドの基準価額騰落率は久しぶりのマイナスでしたが、設定来のインベスターリターンは変わることなく基準価額騰落率を上回っています。短期的な上下動に惑わされることなく、長期投資に親しんでいる皆さまなら、ここが好機とご存じのはず。将来への仕込み時として積み立てを続けてまいりましょう！

第16期のトピックス

2021年12月 …… セゾン・グローバルバランスファンド 純資産総額3,000億円達成

2022年 3月 …… 2ファンドの信託報酬を引き下げ
2ファンド合計運用資産残高 5,000億円達成

2022年 7月 …… セゾン資産形成の達人ファンド 純資産総額2,000億円達成

2022年 9月 …… 2ファンド合計運用資産残高 5,500億円達成

■セゾン・グローバルバランスファンド、セゾン資産形成の達人ファンド(以下、2つのファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。2つのファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カウンターリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。2つのファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。



第16期運用報告会

今回の運用報告会では誕生してから16年を迎えた2ファンドについてあらためてご理解いただく時間をご用意し、皆さまの資産形成の心強いパートナーとして再認識いただきたいと考えております。オフラインでは久々での開催となり、多くのお客さまにわたしたちの想いを直接お届けできることをスタッフ一同楽しみにしております。初日は東京会場とオンラインのハイブリッド開催で実施いたしますので、遠方の方も是非ご参加ください！

※残席わずか

日程	開催時間	開催地	定員	会場名
2023年2月19日(日)	14:00～16:30	東京都 オンライン	100※ (500)	損保会館 オンライン (Zoomで配信予定)
2023年2月25日(土)	14:00～16:00	愛知県	100	栄ガスホール
2023年2月26日(日)	14:00～16:00	大阪府	100※	梅田スカイビル
2023年3月4日(土)	14:00～16:00	宮城県	85	仙都会館
2023年3月5日(日)	14:00～16:00	北海道	95	札幌国際ホール
2023年3月11日(土)	14:00～16:00	広島県	120	広島国際会議場
2023年3月12日(日)	14:00～16:00	福岡県	100	天神チクモクビル

お申込みは先着順となります。

東京・愛知・大阪・広島・福岡

- 【プログラム】
- 第16期運用状況のご報告
 - 投資家から見たセゾン投信のファンド
 - セゾン投信が志向する未来について
 - 質疑応答
- 【登壇予定】
- 代表取締役会長 CEO 中野 晴啓
 - マルチマネージャー運用部長 兼
ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄
 - FCP代表/
セゾン投信エグゼクティブアドバイザー
房前 督明



中野 晴啓



瀬下 哲雄



房前 督明



瀬下 哲雄

宮城・北海道

- 【プログラム】
- 第16期運用状況のご報告
 - セゾン投信が志向する未来について
 - ファンドのご説明～Know what you own,
and know why you own it～
 - 質疑応答
- 【登壇予定】
- 代表取締役会長 CEO 中野 晴啓
 - 代表取締役社長 COO 園部 鷹博
 - マルチマネージャー運用部長 兼
ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄

お申込みはこちら

<https://www.saison-am.co.jp/learn/movie/report/unyo16/>



オンラインセミナーはホームページからのお申込みのみとなります。ご了承ください。



PC / スマートフォンでのお申込み

ホームページ「セミナー情報」はこちらから

<https://www.saison-am.co.jp/seminar/>



電話でのお申込み

セゾン投信お客さま窓口

03-3988-8668

営業時間 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

速報！ NISA 改正

2022年12月23日に閣議決定された令和5年度税制改正大綱でNISAの抜本的拡充について公表されました。ポイントをお伝えします！

- 恒久化：非課税期間、制度の利用期限がなくなります
- 年間投資枠上限が拡大：年間360万円
- 非課税保有限度額1,800万円：恒久化に伴い、保有額に上限が設けられました（再投資可）

	つみたてNISA	併用不可	一般NISA
制度適用期間	2042年まで		2023年まで
非課税期間	20年間		5年間
年間投資額上限	40万円		120万円
最大投資額	800万円		600万円
投資可能時期	～2042年		～2023年
投資枠再利用	不可		不可
投資対象商品	金融庁の届出要件を満たした投資信託		株式・REIT・投資信託等

2023年までに投資した非課税保有額は非課税保有限度額には合算されないため、今まできちんと積立していた方はより非課税の恩恵を受けることができます。この1年もしっかりと積立いたしましょう。

2024年1月～

新しいNISA	
口座開設期間	恒久化
非課税保有期間	無期限
対象年齢	18歳以上
年間投資枠	360万円 つみたて投資枠120万円 成長投資枠240万円
非課税保有限度額	1,800万円（簿価残高ベース） （成長投資枠は1,200万円）
投資枠再利用	可
投資対象商品	【つみたて投資枠】 つみたてNISA 対象商品と同様 【成長投資枠】 株式、投資信託等 （高レバレッジ商品等 除外）

出所：令和5年度税制改正大綱よりセゾン投信作成

改正されたらどうすれば？


新しいNISA制度が施行されるのは2024年からです。改正されるからといって長期投資の心得は変わりません。期限がなくなるのでコツコツ投資が捗ります！成長投資枠ではセゾン共創日本ファンドも購入できます。そうなんです！セゾン投信の全てのファンドを非課税で積み立てることができるようになります。是非ご検討ください！無期限・恒久化に加え投資枠の再利用も可能になるので、柔軟に組み合わせることができるようになりますね。どんな組み合わせが良いか迷ったら、お気軽にお客さま窓口にご相談ください。

買付・解約 受付不可日のお知らせ (2023年1月6日～2023年2月3日)

下記は2023年1月6日現在の当社取扱いファンドの休日（海外休日等）の情報です。海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

- セゾン・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド

買付・解約受付不可日

1月16日（月）…キング牧師記念日 ▶ 

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

※セゾン共創日本ファンドは国内市場休業日に準じます。

今月の積立購入での約定日

- セゾン共創日本ファンド 2023年1月19日（木）
- セゾン・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド 2023年1月23日（月）

■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。また、銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■当社の投資信託は信託報酬等（税込 最大年率1.34±0.2%程度）の費用がかかります。また、換金時の費用として信託財産留保額（0.1%程度）がかかります。■当情報は発行者の許可なく転載、第三者への提供は禁止します。

【発行】セゾン投信株式会社（設定・運用・販売を行います）

【お問い合わせ先】セゾン投信お客さま窓口

【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第349号

☎03-3988-8668 営業時間9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

【加入協会】一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp> ホームページからもお覧になれます。

新年のご挨拶

杉本 洋 (経営企画部)



W杯カテゴリー大会での日本代表の活躍が素晴らしいですね。ドイツ、スペインと同居したグループステージでは、多くの方が予選敗退を覚悟したと思います。確かに最近の日本人選手はヨーロッパで活躍していますが、監督も含めたその経験値はドイツ、スペインに比べると見劣りします。ではなぜ両国を倒すことができたのか？それは日本代表がどの国よりもチームワークが良く、監督、選手、サポーター含めて信頼関係が構築できていたからだと思います。当社もまだまだ小さな会社ですが、ステークホルダーの皆さんと信頼関係を築き、最高のチームワークで2023年の事業を推進していきたいと思っています。

梁田 真里子 (事業推進部)



今年はずき年。〇回目の年女になりました！兎は跳ねるので、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われていて、株式市場にとっては縁起の良い年として知られているようですね。というフレーズがきっと色々なところで聞かれそうです。昨年は“縁”を感じる年でした。今年の干支のうさぎには、「飛躍」、「向上」や「植物の成長」という意味もあって、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われているそうです。まさに“区切り”の年だからこそ、いままでの縁をつなぎつつ、あらためて一から成長し再生する、そんな気持ちで過ごしたいと思っています。リポーン！みなさまと一緒に、新しい年をさらにわくわくうきうきと楽しみたいと思います。

山根 尚之 (事業戦略部)



2022年は47都道府県セミナーで、全国各地のお客さまとお会いできました。オンラインばかりでしたので、このように直接コミュニケーションができる喜びと共に、お客さまから「スタッフの顔がわかって安心した」、「やっぱりリアルセミナーはいい」といったお声を多くいただいて、直販の良さを体感したところでした。

その他にも直販では新しいファンや相談サービス等を開始して慌ただしい1年となりましたが、本年も、ご利用いただくハード面をはじめ、もっと心地よく、「ブラボー！」と言っていただける施策を準備してまいります。

廣江 哲直 (コンプライアンス室)



投資信託を取扱う会社として「信託」という言葉は馴染みが深いのですが、改めて考えてみると大変な責任を負っていることに気づきます。「信じて、託する、ということだよ！」と文字にするとその通りですが、元々の由来は中世の英国、十字軍遠征に向かう兵士が、残された家族が生活していけるように、土地などの財産を信頼できる友人に託し、託された友人は、その土地を果樹栽培など有効活用して、その収益を兵士の家族に渡し続けたことから始まるとの説があります。つまり、自らの利益を考慮せず、受益者の利益のみを考えて与えられた権限を行使する、というとんでもなく高度な概念なのですね。思いを新たに、今年も高みを目指していきます！

津田 由理子 (広報・CEO室)



新型コロナウイルスは、まだ完全な終息とは言えない一方で、緊急事態宣言が終わり、全国旅行支援など政府の施策もあり国内旅行需要が復活、またインバウンドが解禁されるなど、わずかながら明るい兆しが見えてきたように思います。さて、昨年末、2024年からの新しいNISA制度が決定しこちらも光明が差してきました。いちど決定していた複雑怪奇な2階建て新NISAを覆して当初からの悲願である制度実施期間の恒久化、非課税保有期間の無期限化などが決まったことは、投資による資産形成を後押しする大きな前進と言えます。いままでも、これからもますます積立投資で決まりですね。

福田 隆 (直販部)



先日、都内を散歩していたときのこと。街角ピアノの音色で溢れる表通りを過ぎ公園のベンチに腰を下ろすと、落葉を終えた木々が凛々しく佇んでいるのが目に映りました。まるで時間が止まったかのような冬の景色の中で、木々や虫たちは変わらぬ姿で寒く厳しい時間を耐えています。その小さなものたちが無慈悲な自然に抗わず黙々と時を甘受しているのに、わたしたちはなぜ時を待てずに悩み葛藤するのでしょうか。じっとしていられないわたしたちの焦燥は、虫や植物たちからしたら滑稽に映ることでしょう。しゃちほこばらず、しなやかに。そんな心持ちで今年も一緒に参りましょう！

佐竹 賢治 (顧客サービス部)



皆さま、あけましておめでとうございます。昨年2月にスタートした「セゾン顧客本位の相談室」がもうすぐ1年を迎えます。相談室では2つのコース(トコトンコース、サクッとコース)で運用のご相談以外にも、退職・セカンドライフに関すること、教育費について、など数多くのお客さまからご相談いただいております。ご利用いただきましたお客さまには改めて感謝を申し上げます。今後も相談室では「お客さまのお金に関するお悩みや疑問を広く解決するお手伝いがしたい」と想っておりますので、皆さまからのご利用をスタッフとともにお待ちしております。

市本 宏 (管理部)



人を説得するための三要素には「信頼」「情熱」「論理」があるそうですが、企業がサービスを世に提供する際にも同様の要素をバランスよく大切にしなければならぬのではないかと考えています。企業業績は数値で表されることがほとんどであり、兎角、論理的であって合理性を仕事には求められがちですが、特に一番難しい「信頼」を得るために、今できることは何だろうか？という視点で自問自答し、皆さまが納得して行動するきっかけを提供できるよう、企業の論理とはちょっと異なる視点で仕事にアプローチする年にしていこうと思います。

片多 容助 (内部監査室)



普段、料理はしないが、正月だけは例外。①すりおろしたクワイの揚げ物、②酢ゴボウの海苔巻き、③数の子の3品は、いずれもごく簡単なもので、料理という程のものではないが、我が家の食卓では正月の定番になっている。幼いころ同居していた祖母が正月に用意するのを、見様見真似で覚えた。いつ頃から始めたものか定かではないものの、親が健在だった時分、正月に実家に帰る都度、持参していた記憶が残っている。世の中は年々歳々移り変わるが、昔から変わらないものを次の世代にも引き継げたらと思っている。

今月のセゾン投信口座数

156,545 件

(2022年12月30日現在)